

チャレンジプロジェクト④「新しいコミュニティ農園」のモデルづくりプロジェクト

1. 事業名： 服部緑地コミュニティ農園
2. 目的： 農を通じた活動により、都市農地の新たな活用方法の創出とコミュニティの形成を図り、服部緑地の魅力を高めて地域住民に還元する。
3. 実施団体： 服部緑地コミュニティ農園運営協議会【服部緑地スマイルパートナーズ・豊中市・豊中市農業経営者協議会・NPO 法人 花と緑のネットワーク】で運営
4. 事業実施場所： 服部緑地内公園内バックヤード内の空地(約 300 m²) 別添図面参照
5. 事業実施期間： 令和 7 年(2025 年)5 月から令和 7 年(2025 年)12 月まで
6. 事業予算： 1,000千円（内訳 市負担金 920 千円、利用者参加費 80 千円）
7. 取組内容：

①実施概要:上記4の空地を a.個人利用区画と、b.家族用に分けて畝をたて、野菜作りを楽しんでもらいながら、農を楽しんでもらい、食農教育や環境教育、仲間づくりを行うことを目的に実施。また、上記区画の他、障害者就労移行支援事業所等にも参画いただき農産物栽培を行ってもらい、イベントを通して交流を図る。

②参加者： SNS で募集(個人の部:8 人、家族の部:8 組)を行い、全員(組)参加。

③プログラム(個人の部・家族の部)：

	個人の部(毎月第 2 火曜日)	家族の部(毎月第 4 土曜日)
5 月	オリエンテーション 里芋&ピーマン植え付け、落花生種まき 大根 間引き&追肥(4 月に種まき)	オリエンテーション、大阪大学人間科学部ゼミ生 見学とコンポスト指導、竹の名札づくり、さつまい も・かぼちゃ・インゲン・里いも・なす・トマト・落花生 苗の植え付け、枝豆ポット
6 月	雨の為、野菜の育ち鑑賞、座学と懇親、ピー マン一部収穫	水やり、トマトの芽かき、なすの手入れ、紫蘇ジュ ースづくり、キエーロ設置と生ごみ処理の説明・生 ごみ投入
7 月	里芋追肥・土寄せ、落花生の苦土石灰ま き・追肥・土寄せ、ピーマン追肥、大根収 穫、ブロッコリー種をポット蒔き、各自宅で 芽だし管理・観察、ブロッコリー畝の草抜 き、コンポスト講習、シソジュースで歓談	夏野菜の収穫・草刈り・土寄せ、かんたんピザづく り

8 月	畝の草抜き、里芋、ピーマン、落花生 追肥および土寄せ、ブロッコリー3株植付 休憩時に農園でとれた大根で作った、甘酢漬け、切り干し大根試食で歓談、かき氷で歓談、同場所で養蜂を行う梅田養蜂の方から蜂蜜の差し入れ	夏野菜の収穫、秋じゃが芋の植え付け・ネギとの混植、茎ブロッコリーの種とポット持ち帰り
9 月	夏大根畝の草抜き、耕し 里芋 土寄せ、落花生 土寄せ、里芋間に植えた冬大根の1本立ち、ブロッコリー(葉がない1株しか残らず)畝にネギ、レタス植付け(混植)、ハーブティ&参加者が差し入れのシソジュースで歓談	さつまいものツル取りと試食、サツマイモ掘り・畑の整備、じゃが芋の土寄せ、茎ブロッコリーと分葱の植え付け、落花生の一部収穫・草刈り
10 月	キエーロ講習 里芋&落花生、サツマイモの収穫、ブロッコリー1株追肥、土寄せ、ローゼル収穫、レタス虫食いのため僅かしか残らず	イベント用のさつまいも掘り、さつまいものつるの煮物試食、ニンニク・分葱の植え付け
11 月	里芋、落花生、分葱、大根、ローゼル収穫 リース作り、芋煮会	電気フライパンでやきいもパーティ、里芋・しょうが・ジャガイモの収穫、大麦の種まき
12 月	本事業の参加者(個人、家族)とその家族、協議会運営メンバー、同場所で活動する障害者就労移行支援事業所、養蜂会社社員等が参加できる交流イベントを12/14に開催予定(服部緑地BBQ 広場)。農園で収穫した農産物や地元産食材を使用し調理、試食。芋版作成等の子ども向けWS、農家による縄ない実演、農園で知り合った仲間との語り合いの時間	

④参加者の声(アンケート結果から)

(個人の部)

- ・野菜づくりに関心があるが作ったことがない人の参加が多かった(30~40代の女性が多数)
- ・頻度としては月1回がちょうどよいが多数
- ・落花生の栽培や、リースづくり、試食などが楽しかった。肥料の量がわかりにくかった。
- ・次回も参加したいが多数。市民農園や農業塾に関心あり(1/3)、花と緑のNW活動に関心(1名)

(家族の部)

- ・落花生など育つ姿を見たことがない野菜を育てたことが楽しかった。
- ・収穫野菜の調理レシピを教えてもらえ新しい発見があった
- ・子どもと一緒に農園体験できたことが良い経験となった
- ・苺や西瓜なども作ってみたい。次回も参加したい(半数程度か)
- ・市民農園への関心あり(1/4程度か)

8. 課題と今後の展開について

【課題】

- ・事業内容の充実(テーマを持った活動団体と農業者との連携、参加者とのコミュニティ形成)
- ・事業参加後の利用者の動向
- ・事業運営の自立安定化にむけた取り組み

【今後の展開】

- ・R8年度も同一場所で事業実施継続を予定(R8予算要求)
- ・他の実施拡大場所の検討